

月日山展望台、 再整備の考えは 休憩所として改修する



戸 来 伝
(終の会)

議員 月日山の展望台を再整備し、市民の憩いの場、観光スポットとして活用する考えは。

農林部長 月日山森林エリアは、平成十一年度に展望台やハイキングコースを設置するなどの環境整備を行っています。展望台については、これまで腐食部分の補修を行ってきましたが、昨年四月の点検で

土台となっている支柱や床材の腐食が進んでいたため使用禁止としました。今年度の調査で、展望台としての機能を維持するための改修は困難と判断し、現在は雨をしのいだり日よけとなる休憩所として活用するための改修を行っています。今後は眺望の確保やベンチを配置するなど環境整備に努めていきます。



休憩所として改修された、月日山展望台

議員 月日山に、自衛隊ヘリコプター部隊を誘致するというのを、二期目の公約に掲げる考えは。

市長 公約は現行制度の調査等を行わなければ具体的に掲げることにはできないものであるため、ご

提言の内容は、公約とは別に、研究等を行わなければわからないものと思っております。

議員 十和田観光電鉄の旧電車線跡地を利用し、通学用サイクリングロードを整備する考えは。

建設部長 跡地利用については、主要地方道三沢・十和田線、六戸七百バイパスから市管内道路の整備用地に充てることが妥当と考えています。今後整備する際には、自転車・歩行者道としての機能も計画に反映されるよう努めていきます。

議員 十和田湖の遊覧船乗船料を無料にするため、公費を投入する考えは。

観光商工部長 民間企業が行っている事業のため、乗船料を公費で負担することは考えていません。誘客キャンペーンや宿泊費補助等の事業を展開し、十和田湖の魅力増進を図っていきたくと考えています。

総務文教常任委員会 視察報告

五月八日から十一日に実施した行政視察の概要を報告します

徳島県鳴門市

「事業仕分け・スーパー改革プラン」

鳴門市は、人口約六万三千人。鳴門のうずしおで有名な観光都市ですが、近年、競艇事業の収益に依存してきた行政サービス運営が困難になってきたことから、財政健全化の一環として事業仕分けを実施し事業の再構築を図りました。また、スーパー改革プランにより、職員数の大幅削減、職員等給与削減、各施設の民間移管・民間委託などをすすめていきました。

愛媛県西条市

「合宿都市構想」

西条市は、人口約十一万人。平成十六年の市町村合併を契機に、合宿都市構想を掲げ、関西以西の企業・大学などの競技スポーツ団体を誘致していました。

特に、温暖な気候をアピールし、プロ、セミプロを中心にリピート団体の獲得をめざして行いました。

高知県土佐町

「姉妹都市交流」

昭和六十年六月、旧十和田湖町と土佐町は姉妹都市交流を宣言い

ました。以来、小学生の相互訪問が行われています。

今回は、姉妹都市交流の縁である大町桂月のミニ文学館「桂月館」も訪問しました。

高知県高知市

「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」

高知市は、人口約二十六万人。当条例は、平成十五年に住みよい高知市を実現するために必要な基本ルールを定めたものです。

市民活動を財政支援しようと公益信託高知市まちづくりファンド(二千万円)を創設していました。



高知県土佐町にて